

水土里ウォークin十郷用水を開催

平成22年10月30日(土)に、坂井市坂井町において、約400人が参加して「水土里ウォークin十郷用水」が開催されました。

第7回目となる今回は、千年の歴史があるといわれており、現在、パイプライン化の工事が進んでいる十郷用水をたずねる約5.4kmのコースになりました。

【開会式】

のんびりとした雰囲気の中、開会式は始まりました。



寛弘8年(1011年)に3人の神主が同時に同じ夢をみて、九頭竜川に行ってみると、神鹿が現れ、3度鳴いたそうです。神主たちはその場所に、堰を築きました(現在の鳴鹿大堰)。また、鹿の歩いた道にそって水路が作られました(現在の十郷用水)。



千年の時を経て神鹿が現れ、童子と一緒に完歩を誓います。

【スタート】

神鹿に導かれてスタートです。



故事に倣い、神鹿の三鳴とともにスタートしました。

【用水路沿いをウォーキング】

用水は血脈のごとく坂井平野を巡り、暮らしを支えています。



【水路内ウォーク】

千年前に神鹿に導かれて開削された水路は、コンクリート3面張の水路となっています。

さらに、現在、国営と県営のパイプライン化工事が進んでおり、今回歩いた水路も来年は撤去されます。



【パイプライン化の工事現場の見学】

パイプライン化工事の現場を見学です。



埋設されるパイプに記念サインです。
千年後に発掘されるとラスコー洞窟のよ
うな騒ぎになるかもしれません。
タイムカプセルならぬタイムトンネルです。



パイプ内もウォーキングです。

【春日神社】

神鹿に導かれて開削された水路は、千年前に坂井平野にある十の郷の水田を潤しました。
十の郷にはそれぞれ春日神社が創建されました。

